

## 【目次】

1. 企画展「日本のメーデー100年—自由と団結の旗のもと—」がオープン、1月6日！
2. 友愛労働歴史館 HP・同メールアドレス・同ツイッターの QR コードを掲載！
3. 友愛労働歴史館 HP に古歌「幸せは春の桜に秋の月・・・」をアップロード、1月20日！
4. 民社党結党60年記念講演会が当歴史館研修室で開かれる、1月18日！

### 1. 企画展「日本のメーデー100年—自由と団結の旗のもと—」がオープン、1月6日！



友愛労働歴史館は1月6日（月）から新しい企画展「日本のメーデー100年—自由と団結の旗のもと—」（2020.1.6～6.30）を開催しています。

日本で最初のメーデーは1920（大正9）年5月2日、東京・上野公園で友愛会を中心とする約1万人余の労働者が参加し、開かれました。その後、中断があり、戦後の1946（昭和21）年5月1日にメーデーは復活し、2020年で100年を迎えます。

企画展「日本のメーデー100年—自由と団結の旗のもと—」は、第1部「メーデー前史（なぜMAY DAY？）—1886年5月1日～」、第2部「戦前のメーデー 非合法下の団結—1920年5月2日～1936年5月1日」、そして第3部「戦後のメーデー その変遷をたどる—1946年5月1日～」の三部構成。

第1部「メーデー前史（なぜMAY DAY？）」では、世界最初のメーデーとされる1886（明治19）年5月1日のアメリカの労働者による「8時間労働」要求のゼネストなどについて紹介しています。第2部「戦前のメーデー 非合法下の団結」では、1920年5月2日の日本最初のメーデーから1936（昭和11）年の2.26事件を契機とするメーデー禁止までを解説・展示しています。

第3部の「戦後のメーデー」では、1946年に復活した戦後第1回メーデーや混乱期を象徴する食料メーデー・血のメーデーなどについて、また労働4団体（総評・同盟・中立労連・新産別）時代のメーデーについて、そして連合（1987年民間連合、1989年官民統一連合）時代のメーデーについて、紹介・展示を行っています。さらにメーデー近代化への動きやなぜメーデーが4月最終土曜日に開かれるようになったのか、などについて解説しています。

### 2. 友愛労働歴史館 HP・同メールアドレス・同ツイッターの QR コードを掲載！



友愛労働歴史館は公式ホームページ HP と Eメール、ツイッターによる情報発信を行っています。その QR コードを掲載いたします。

友愛労働歴史館 HP の QR コード（左）、友愛労働歴史館メールアドレスの QR コード（左・中央寄り）、そして友愛労働歴史館ツイッター（右）の QR コードです。



### 3. 友愛労働歴史館 HP に古歌「幸せは春の桜に秋の月・・・」をアップロード、1月20日！

1月20日、友愛労働歴史館 HP に「幸せは春の桜に秋の月 家族達者で三度食う飯」との古歌をアップロードしました。現在の日本社会では失業、貧困、格差、不平等、長時間労働、違反残業・サービス残業、セクハラ・パワハラ、非正規労働などの課題が沢山あります。労働組合が頑張らなければいけないのに、どうも存在感は希薄。僅かに春の賃上げの季節に、労働組合の活動がマスコミに取り上げられるようです。

そもそも労働組合は何をめざして活動している団体なのでしょうか。労働組合法第2条は労働組合について、「労働者が主体となって自主的に労働条件の維持改善その他の経済的地位の向上を図ることを主たる目的として組織する団体又はその連合団体をいう」と定義しています。

労働組合の定義・目的は別として、もっと簡明に「労働組合は幸せづくりの団体」と考えると、労働組合の目的は次の古歌に表現できます。

古歌「幸せは春の桜に秋の月 家族達者で三度食う飯」



労働組合は組合員・家族が三度の飯を食べられるように先ず最低限の労働条件を確保し、さらにより良い労働条件の実現をめざします。また、家族全員が元気に健康で食卓を囲むことができるように、時短や休日増、医療制度などの充実に取り組みます。そして家族が揃って春の桜や秋の月を楽しめるように、組合員の休暇や休日の拡充に努めます。

さらにその延長線上に労働組合は、企業・産業や労働者を取り巻く社会と国のあり方への関与、社会保障や環境問題への取り組みなどを行います。労働組合は組合員の労働諸条件の維持向上を図る団体であるとともに、トータルで労働者・家族の「幸せづくり」をめざす団体なのです。

### 4. 民社党結党60年記念講演会が当歴史館研修室で開かれる、1月18日！



1月24日は民社党（西尾末廣委員長、曾祢益書記長）結党から60年となります。戦前期、友愛会・総同盟が支えた社会民衆党（1926.12.5結党。安部磯雄委員長・片山哲書記長）の流れを汲む民社党の結党60年を記念し、友愛労働歴史館は昨年、企画展「民社党結党60年—勤労国民政の旗を掲げて—」（2018.1.7～06.28）を開催しました。

この結党記念日に先駆け1月18日（土）、民社OB会（会長：梅澤昇平）主催の「第2回民社党結党60年記念の集い」が開かれました。第一部の講演と自由討論「民社の昨日、今日、明日」（講師：清滝仁志駒澤大学教授）は、友愛労働歴史館研修室（友愛会館8階）で行われました。また、第二部の「民社OB会総会と懇親会」は友愛会館9階会議室で開催されました。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール [yuairekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairekishikan.com>

唯一館から126年、友愛会から108年